



広報紙
「志～子どもは未来からの使者である～」
発刊にあたり

NPO法人
岐阜立志教育支援プロジェクト

理事長 井上 武

年の瀬も押し迫りました。初めてお便りいたします。平素は「志授業」の活動を通じて、「岐阜立志教育支援プロジェクト」へのご支援をいただき、誠にありがとうございます。

この活動もスタート以来、7年目を迎えました。あっという間の7年間でした。4年前にはNPO法人の認可を受け、岐阜県内教育委員会の後援を得ながら、「志授業」の活動を続けてきました。また、年1回開催する「立志教育支援フォーラム」も6回を数えました。

「継続は、力なり」といわれるように、県内の小中学校からの定期的な講演依頼も来るようになりました。当初、6名でスタートしたメンバーも30名を超えるほどになりました。

7周年を機に、現在の活動を皆様方に報告するとともに、「志授業」をさらに発展すべく、広報紙「志～子どもは未来からの使者である～」を発刊することになりました。

当面、年2回の予定ですが、今後の進み方によっては、季刊誌にまでしたいと思います。

これからの皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。



平成26年12月
創刊号
NPO法人 岐阜立志支援プロジェクト
〒500-8466
岐阜市加納本石町3丁目7番地テイクオフ内
TEL (058)276-3888



岐阜立志教育支援プロジェクトの年間の活動

志授業

志をもって生きることの大切さを伝え、自分の未来を見つめようという授業を、本プロジェクトの認定講師が行います。

志授業実践研修会

志授業を受けて、どのように教育課程の中位置付けたかの交流をして、さらに、学校の実態に応じた取組を考える機会にすることを願って行います。

岐阜立志教育支援フォーラム

毎年テーマを決めて、生き方を学べる特別講師を招いての講演と、志授業提唱者の角田謙之様の基調講演を行います。また、昨年度の志授業を受けた児童生徒の自分の未来を見つめての「お役立ち山」の発表を位置付けています。



岐阜立志教育支援プロジェクトの これまでの取組



平成26年県内「志授業」実施小中学校等一覧
(認定講師、3名で「志授業」を実施)

1月	聖徳学園中学校 岐阜市立三里小学校 各務原市立緑苑小学校
2月	岐阜市立陽南中学校 岐阜市立岩野田中学校 海津市立吉里小学校
3月	岐阜市立加納西小学校 各務原市立中央小学校
6月	各務原市立中央小学校 各務原市立鵜沼第二小学校 各務原市立陵南小学校 北方町教育委員会
8月	本県市中学生リーダー研修 岐阜県教員研修「特活進路部会研修」 北方町立北方中学校 各務原市立全教員対象「教育研修」
10月	羽島市立中央小学校 海津市立吉里小学校 北方町「糧塾」 各務原市立中央小学校「志発表会」
11月	各務原市立陵南小学校 各務原市立那加第一小学校 各務原市立鵜沼第二小学校 安八町立神戸小学校 大野町立大野中学校

志授業

授業を受けた子どもたちの感想

僕の志はまだしっかりしていませんが、外科医をを目指しています。学んだことの中で今の生活に生かせることは、仲間に挨拶をすること、身の回りのものの整頓です。挨拶は、道具やものに感謝するために必要です。整頓は、細かいことまで気にする癖を付けてミスをしないようにするためです。

また、自分では目標を高くもっているつもりでも、実際やってみて難しかったりすると、目標を低くしてしまいます。だから、難しいと思っても、高い目標をもってチャレンジしていきたいです。学校の3本柱は、挨拶・授業・掃除なので、なおさら頑張っていきたいです。

僕は人の上に立つことが嫌いで、いつも誰かの下にいました。でも、井上先生の話聞いて、小さくても少しでも上に立ちたいと思いました。

僕には調理師と栄養士の免許を取ってイタリアでイタリア料理の勉強をして、日本で店を開くという夢があります。そのために、今、家では夜ご飯のおかずを作ったり手伝いをしたりして家族のために働いています。働くことは人に愛され、ほめられ、人の役に立ち、人から必要とされるというよいことがいっぱいあるので、働ける年になったら、しっかり働きたいです。井上先生のおっしゃった志をこれからも大事にしていきたいです。

私の登る「お役立ち山」

私の志(心指し)
読んだ人の生き方に関われる文を書く小説家になる。誰一人、一人で悲しい涙を流さない世界をつくる。

私との約束
自分自身に常に全力で向かいあい大切に。自分の弱さごとことん戦い、強い自分を目指し続ける。

今までの経験を糧にして多くの人の道徳となる作品をたくさん書く。

学校生活で多くの人と温かい心をもって関わることを通して、学校行事で劇の脚本を書く。

私の本が全ヶ国語に訳され、今を生きる幸せや未来の志を、私の小説を読んだ人が抱く。

全ての人が文字を読めるにするために、世界中に学校を建てる取組をする。

社会の様々な生き方を理解し、それを生かして小説を書きデビューする。

必ず道徳ある！
「山に出会えば道をつくり、川に出会えば橋をかける」

H26 年7月7日 作成

岐阜立志教育支援フォーラム

	開催テーマ	特別講師と演題
平成21年	人生経営の社長就任式	副読本のコンセプト説明副読本の活用例紹介
平成22年	岐阜発 平成龍馬伝	医療法人サンクリニック 院長 山縣威日様 「未来からの使者の可能性」
平成23年	子どもたちの立志に未来を託そう！ 立ち上がれ日本！ 教育の復興をともに見つめよう！	AUN クラシック 井上良平様、公平様 和楽器演奏会（日本人の心を伝えよう）
平成24年	咲き誇る子どもたちの笑顔が未来を照らす！	メリープロジェクト代表、アートディレクター 水谷孝次様 「世界の子供達に笑顔を」
平成25年	立志教育が日本の希望となる日	復元納棺師 笹原留依子様 「いのちの大切さ」
平成26年	尊敬できる大人の背中が一番の教科書	プレジャー企画代表 大棟耕介様 「ホスピタルクラウンとしての志と実践」